



取材日:平成25年8月7日(水)

取材先:リプロ株式会社(三重県四日市市)

レポーター名:三重大学人文学部法律経済学科2年 倉田夏実

リプロ株式会社における地域貢献活動

リプロ株式会社の本業は、ユーユー・カイカンとして知られる町の銭湯としての性格である。その反面、地域貢献に日々奮闘する現場の従業員の姿も見られた。

では、リプロ株式会社における地域貢献とはどのようなものであろうか。

➤ 障がい者雇用

三重県の障がい者雇用は全国最下位(当時のデータ)と県全体における深刻な課題となっている。そのような課題解決に少しでも近づけようと始めたのが、「ユーユーハウス」である。

そこでは、障がい者がしいたけ栽培の仕事に従事している。他にも、イチゴ、ピーマン、ねぎ等様々な農作物が障害者の手によって育てられている。

しいたけ栽培においては、夏は16の井戸水を使用する一方、冬は銭湯の性格を活かし、50の源泉を利用している。更に、しいたけのほだぎは鶏糞、牛糞と合わせて畑の土にする等も行っている。また、全国公募で「しいたん」というキャラクターも創作している。以上の3点は、他ではなかなか行っておらず、他と差がつけられる所であろう。そして作られたしいたけは、ユーユー・カイカンの売店で販売、食堂で利用する他、出荷もしている。これにより、それを食べた客、提供したホテル等も同時に社会貢献していると考えている。つまり、ここでは「食べるCSR」の実現を図っているのである。

ただし、単に障害者の雇用の場を提供しているだけではない。障害者が人として成長できるように支えているのである。そして最終的には障害者が自分の家の庭で育てた農作物を家族が食べて生活するといった自立を目指している。

➤ 子ども育成・地域の人々が楽しめる場の提供

子どもの育成活動の一つとしてサッカースクールを開校している。そこでは、単に子供達にサッカーを教え、サッカーの上達、子供が外で運動する場の提供をしているのみではなく、人として成長することを目指している。

そのためにも、「4つの約束」を定め、子ども達が人として当たり前の事(例えばあいさつ等)

を身に着けるようにしている。また、そこで従事する人々も高い志を持ち、「地域にいてほしいと思われたい」という思いから日々仕事に取り組んでいた。

その他も「風呂大学」といったユニークな企画も行っている。四日市市には、天皇に献上する程の技術を持った万古焼の陶芸家等地域の方々にはあまり知られていないが素晴らしい人が多い。そのような人々を地域の人々に広く知ってもらおうというのがこの企画である。

➤ 現社長、佐野さんへのインタビューを通して

取材中、リプロ株式会社の社長、佐野武さんにもお話を伺えた。

まず、地域貢献活動の始まりは経営者の郷土愛であった。「町のお風呂場として人が集まる楽しい場所であり続けたい」という考えを基に、遠方ではなく地域の人々との深い繋がりを形成する事を目指している。

そして、儲けに重きを置くよりも地域貢献活動を通じて情報発信していく事を重要視している。それによって他企業の地域貢献活動を推進する事ができ、更なる地域活性化に繋がると考えられる。

経営にあたっては、自分にも、客にも、地域にも良い様に、「三方良し」を基に、皆が良い環境づくりに永遠にチャレンジしていくという。

➤ 編集後記

現在、資本主義社会の中で利益追求に没頭してしまう企業も多くなったように思います。そのような中、今回取材させて頂いたリプロ株式会社は、利益追求を二の次にして地域貢献活動に尽力していました。

その活動の代表格でもある、障がい者雇用と子どもの育成の双方に共通することは、人としての成長を目指している点です。それ故でしょうか、皆さん生き生きと活動されていました。

サッカーチームの校長に当たる、高山功平さんの、「時間は平等であり、その内で何をすることが重要である。我々はその内で当たり前な事を当たり前出来る発信源になる」という言葉には考えさせられました。その言葉からは、限られた時間の中でも、地域のために貢献しようという強い意志が読み取れます。

企業が一地域で生き残るためには、地域の人々の信頼が必要不可欠です。その点からも、利益よりも情報発信に重きを置くリプロ株式会社は長く生き残れる企業であると感じました。

また、取材の端々でも、さまざまなスタッフが地域の方々のために何が出来るかという事を常に考え、研究しているという向上心が見られました。それが、地域貢献活動の継続に繋がっているのであろうと感じました。

最後に、取材を通して、地域貢献活動により地域の人々が幸せになり、それを見た従業員も幸せになり、更なる仕事へのやる気にも繋がる。また、地域貢献活動は多くの人に自社を知ってもらい良い機会となることが見て取れました。NPO等と協力することで、自社で不足する分を補いあえるというメリットもあります。これを踏まえ、多くの企業がリプロ株式会社のように地域貢献活動に尽力するようになることを切に願います。